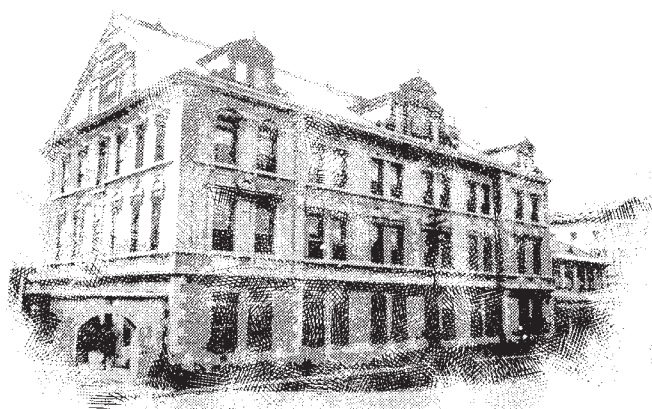


第3章

鈴木商店

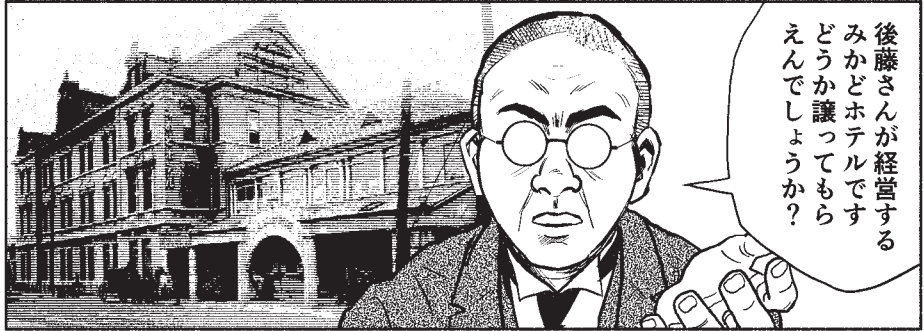
みかどホテル買収と新本店、
そして満鉄から大豆搾油事業買収



金子直吉は
後藤勝造に会う為
後藤回漕店を訪れた

神戸の街が
開けたのは
後藤さんが台湾と
結びついたり
西洋風文化を
広めたからだと思
っております

ははは
上手いこと
おっしゃる
それで本題は
なんですか？



いまや世界の鈴木商店
その発信基地になるのであれば
こんなうれしいことはありません

ありがたい！
鈴木商店が台湾に
進出できたのは
後藤新平さんを紹介
してくれたおかげ……
また借りが増え
ましたな

いやいや
実は後藤新平閣下とは
親族ではないんです
ただ同姓なので
可愛がってもらって
いるというだけで
金子さんは
最近閣下とは
どうですか？

閣下は台湾総督府
民政長官の後
満鉄総裁に就任
されたでしょう
それで次の
總裁にならんかと
言われてましてな
ただわしは神戸の
「白鼠」で充分や
それで断らせて
もらいました



※「白鼠」は主君に忠実な番頭の異名



はあ
満鉄総裁に推挙なんて
すごいことですわ
もう金子さんは
国を背負うお方や

結局
後藤新平さんの片腕で
台湾総督府の総務局長でも
あった中村是公さんが
二代目満鉄総裁になって
この前会うて話して
きましたわ



後藤閣下、中村是公
そして金子直吉……
台湾つながりやないですか
総裁を断っておいて
満州で商売をされる
おつもりでは？



後藤さんは西洋風の
レストランを経営され
とるからわかると思うん
やけども食用油が
どんどん伸びると
思うんですわ

がはは
その通りですわ



西洋の食べ物は
どんどん広まると
わしも思う
亀井堂の松井さんが
始めた瓦せんべいも
西洋菓子の応用
うちの西洋料理も
広まってます
食用油も伸びる
でしょうな

後藤新平さんが満鉄の
総裁やった頃から
大豆の搾油技術を開発
してるそうなんや
本音では是公さんも
開発したいが
満鉄の本業とは違う
誰も評価してくれん
無駄遣いやとさんざんの
言われようなんや



まさか
金子さん……



そうや
わしに売ってくれと
お願いしてらんですわ
鈴木は魚油事業で
油にはなじみがあります
で、日本は肥料(大豆粕)を
大量に輸入してます
そして
食料油は菜種ばかりや
これを大豆を満州から
内地にもってきて日本で
搾油する形に変え
一部は海外に輸出
残った粕は肥料にする
……と



それは合理的ですなあ
中村是公さんはなんて
いっています?

大連にある
満鉄の搾油工場を
鈴木が買い取ること
そして日本に
世界最大規模の
工場を三つつくる
ことが条件やと

なんと……その条件
呑まはるんですか?



もちろんですわ
まず神戸近くの鳴尾
そして横浜
あとは静岡の清水です

当初
鈴木商店製油部
といわれた工場群が
豊年製油(現・
J-オイルミルズ)
へと発展していく

特に清水港には
世界最大の
工場がつけられる
これが清水港最初の
大規模工場と
いわれている

清水市史には

「清水貿易は茶輸出だけで埋立地は荒廃と化していたが、関西事業の霸王神戸の鈴木商店が進出するとなるや、死火であつた地元も動き、鈴木の腕に復活蘇生された。まさに魔人鈴木の怪力は大工場を立て、豆を絞る一豆粕を造る、数十の事務員と数百の職工眼前に聳え立つ工場は、清江士に力強い興業の精神を与え、やがて各種の大工業の振興は火を見るが如く明らかだ」との評価を与えた」

と鈴木商店の進出が
清水産業界の発展の
転機であつたと述べる

